

町指定文化財（彫刻）

町指定文化財（彫刻）について紹介します。

★閻魔大王像



呼 び 方／えんまだいおうぞう
種 別／町指定文化財（彫刻）
指定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)
所 在 地／田子町大字田子字七日市
釜淵観音堂蔵
所 有 者／釜淵観音堂管理者
解 説／田子出身の奇峯学秀の作品。閻魔大王は人間の死後の世界で生前の行いを審判する十人の王のひとり、学秀仏としては珍しく彩色されている。制作年代不明。

★十王像一号～六号



呼 び 方／じゅうおうぞう
種 別／町指定文化財（彫刻）
選定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)
所 在 地／田子町大字田子字七日市
釜淵観音堂蔵
所 有 者／釜淵観音堂管理者
解 説／田子出身の奇峯学秀の作品。
制作年代不明。

★観音菩薩像



呼 び 方／かんのんぼさつぞう
種 別／町指定文化財（彫刻）
選定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)
所 在 地／田子町大字田子字七日市
釜淵観音堂蔵

所 有 者／釜淵観音堂管理者
解 説／田子出身の奇峯学秀の作品。千体仏の中央に安置された像で重量感を感じさせる。背面に学秀の両親をはじめ親族の法名が墨書されていて、千体物が親族の供養のために制作されたものであることが分かる。同時に学秀が釜淵家の出身であることが証明された重要な作品でもある。

享保7年（1722）の制作。

★正観音菩薩像



呼 び 方／せいかんのんぼさつぞう
種 別／町指定文化財（彫刻）
選定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)
所 在 地／田子町大字田子字七日市
所 有 者／個人

解 説／田子出身の奇峯学秀の作品。均整のとれた美しい顔をしていて、もともとは釜淵観音堂の御本尊であったと推察されている。

制作年代不明。

★千体仏像



呼 び 方／せんたいぶつぞう
種 別／町指定文化財（彫刻）
選定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)
所 在 地／田子町大字田子字七日市
所 有 者／個人
解 説／田子出身の奇峯学秀の作品。この像
は学秀が八戸大慈寺住職を引退したあと、故郷
の観音堂にこもって親族の菩提のために制作し
た千体仏のうちの二体である。
享保7年（1722）の制作。

★恵比須像・大黒像



呼 び 方／えびすぞう・だいこくぞう
種 別／町指定文化財（彫刻）
選定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)
所 在 地／田子町大字田子字七日市
所 有 者／個人

解 説／田子出身の奇峯学秀の作品。恵比須像は左手には鯛をかかえ、右手には釣竿を持ったおなじみの神様で、商家では商売繁盛の神様として信仰されてきた。この像は顔の部分が特に破損がひどく、いたいたしい感じを与えている。大黒像と一対として刻まれたものである。制作年代不明。

★薬師如来像



呼 び 方 / やくしによらいぞう
種 別 / 町指定文化財 (彫刻)
選定年月日 / 1984. 03. 06 (昭和59. 03. 06)
所 在 地 / 田子町大字田子字衣更
衣更薬師堂蔵
所 有 者 / 衣更薬師堂管理者
解 説 / 田子出身の奇峯学秀の作品。薬師如来は人間の病気や心の苦しみを癒してくれる仏であり、この像は耳疾に効験があるといわれる。
制作年代不明。

★阿弥陀如来像・観世音菩薩像・勢至菩薩像



呼 び 方 / あみだによらいぞう・かんぜんおんぼさつぞう・せじぼさつぞう
種 別 / 町指定文化財 (彫刻)
選定年月日 / 1984. 03. 06 (昭和59. 03. 06)
所 在 地 / 田子町大字田子字上野
上野阿弥陀堂蔵
所 有 者 / 上野阿弥陀堂管理者
解 説 / 田子出身の奇峯学秀の作品。阿弥陀如来は極楽世界の主宰者とされ、観音菩薩・勢至菩薩を脇侍として従えている。勢至菩薩は最高の知恵を具えた仏とされる。
制作年代不明。

★十一面観音像



呼 び 方／じゅういちめんかんのんぞう

種 別／町指定文化財（彫刻）

選定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)

所 在 地／田子町大字田子字下田子
真清田神社蔵

所 有 者／真清田神社管理者

解 説／作者及び制作年代は不明であるが、真清田神社の前身である清水観音堂の創建が平安時代まで遡ると伝えられることから、その期の制作である可能性が高く、様式にもその期の特徴が認められる。田子城時代の信直・利直はこの観音への信仰が厚く、毎年寄進米二駄を奉獻している。

★薬師像・毘沙門像・弥陀像



呼 び 方／やくしぞう・びしゃもんぞう・みだぞう

種 別／町指定文化財（彫刻）

選定年月日／1984. 03. 06(昭和59. 03. 06)

所 在 地／田子町大字田子字下田子
真清田神社蔵

所 有 者／真清田神社管理者

解 説／作者及び制作年代は不明であるが、十一面観音の脇侍（わきじ。付き添いの意）であり、同時期に制作されたと推察される。三体をお前立童子と総称されていたが、棟札によってそれぞれの尊像名が判明した。

★仁王像



(開口形阿形—金剛像) (閉口形吽形—力士像)

呼 び 方／におうぞう

種 別／町指定文化財（彫刻）

選定年月日／1985. 03. 28(昭和60. 03. 28)

所 在 地／田子町大字関字関

所 有 者／洞円寺

解 説／明治8年（1875）、第15世周香大和尚が、広く北海道まで基金を募り完成させたという。松材を用い、朱塗りで高さ3mの1対の像は参詣人に畏怖感を与えるほどの迫力がある。

★恵比須・大黒像



呼 び 方／えびす・だいこくぞう

種 別／町指定文化財（彫刻）

選定年月日／1985. 03. 28(昭和60. 03. 28)

所 在 地／田子町大字田子字清水頭

所 有 者／個人

解 説／田子出身の奇峯学秀の作品。制作年代不明。

★山の神像



呼 び 方／やまのがみぞう

種 別／町指定文化財（彫刻）

選定年月日／1985.03.28(昭和60.03.28)

所 在 地／田子町大字田子字池振上平

所 有 者／個人

解 説／所蔵している家は、代々マタギの束ねをした家柄で、その信仰の対象として傘下のマタギたちの拠出金を鑄造したもので、原材料は大量の銅銭であったという。

■お問い合わせ先

田子町教育委員会 教育課 社会教育グループ

郵便番号 039-0201

青森県三戸郡田子町大字田子字柏木田169

電 話：0179-20-7070

F A X：0179-20-7075

E-mail：takko-kyoiku@town.takko.aomori.jp